

	内容	回答
1	4月より京阪バス（四條畷駅⇄イオン四條畷）部屋経由で運行中。運賃230円で往復460円の負担。コミュニティバスの運行（循環）で年金生活者の負担が軽減されるのでは？	(工) 公共交通 をご覧ください
2	ボール遊びができる公園、場所を子供たちのために作ってほしい	(カ) ボール遊び可能な場所 をご覧ください
3	統廃合の決定を早く知りたいです	(キ) 小中学校の再編 をご覧ください
4	正午の音楽は家の中にも聞こえるのに、防災訓練の放送は外に出ても何を言っているのか全く聞き取れない。聞こえるようにしてほしい。	(ク) 防災対策 をご覧ください
5	防災無線が聞こえにくい。（防災訓練時、申し出たところ音量を大きくすると近隣の住民より苦情があったとの事 防災無線設置数を増設してはどうか？	
6	清掃車の入れない生活道路のゴミ対策 （小型の清掃車の配備）	(コ) ごみ・犬猫のフン をご覧ください
7	以前より少し減ったような気はしますが、犬のフンには困っています。子供たちが遊ぶ公園にもあったりして、遊ぶ場所が少ない中、唯一の場所なのに！	
8	SNSなどで市民の声を聞くシステムの導入	(ソ) 広報・広聴 をご覧ください

9. 若い人たちが結婚して、四條畷市に住みたいと思われるような環境づくり、育児のサポートが大事だと思うので、例えば家賃の助成、新築費用の助成、子供さんへいろんな節目のお祝金を出すとか、高校生まで医療費が無償とか。

A.

平成29年度に子育て支援プロジェクトチーム設置し、現役世代人口増加を目的として、どこよりも安心して子育てができる環境づくりを目指し、包括的な子育て支援施策の構築について検討し、優先して取り組むべき施策として、妊娠期からの子育て支援の充実、保育等の充実、学力向上支援のほか、若い世代の住宅確保にかかる支援など、17施策（40事業）を掲げる「子育て支援重点プロジェクト」を提案いたしました。今後は、この提案を中心に施策を推進してまいります。

なお、家賃及び新築費用の助成については、平成30年度から実施する住宅マスタープランの改訂作業のなか、住宅全般にかかる住みよさ、まちの魅力向上の観点、また、他の市民との公平性や財政的な持続性の観点も含め、検討の参考にさせていただきます。

10. 核家族化がすすみ、子供たちはお年寄りとの関りが少なく、人を思いやる心、いたわる心などを育てる環境が少なくなっている。少しでもそういう心を自然に育てるために授業の一環として校区内にある福祉施設との交流を試してみるのもいいのではないのでしょうか。

A.

高齢者と子ども達との交流については、美田町で地区福祉委員会が世代間交流を行っておられるほか、各学校においては、状況に応じて、高齢者施設や福祉施設を訪問して、歌やダンスの表現活動をしたり、クラブ活動の一環でゲームをしたり歌を歌ったりするなどの活動を行っております。また、福祉施設の方を招いて、車いす体験をしたり、体験談を聞くなどの各種取り組みを行っております。

今後はこれらの活動について、関係機関とともに広く周知していくようにいたします。

11. 歴史ある町なので、もっとアピールの仕方を考えてはどうでしょうか？

A.

本市では、楠正行に関連するイベントとして、「楠正行シンポジウム」のほか、四條畷神社では地域の子どもたち・若い人々を呼び込む「楠公まつり」が行われています。

また、楠正行の墓所にある楠（くすの木）は、市が四條畷八景の1つとして指定しており、観光ボランティアガイドが引率するハイキングや市の観光ガイドマップ「我が街四條畷 自然・文化・観歴史ガイド 四條畷あっちこっち ちょこ旅」の他、市のHPなどでも紹介しています。

楠正行以外の歴史、文化の発信といたしましては、本市は、日本で最初に大陸から馬が伝わり、馬飼いの集落が発生した「馬文化発祥の地」であることから、四條畷市歴史民俗資料館において、市内で発見された馬形埴輪を常設展示しているほか、四條畷市の歴史に関する「特別展」「歴史講座」などを開催し、市内外の方に楽しんでいただいております。

また、飯盛山にかけて存在した飯盛城は、戦国時代に三好長慶が居城としたことで知られており、その城跡に国の史跡指定を受けるため、大東市とともに取り組んでいるところです。